

秋田市教育委員会
会 議 録

平成29年9月定例会

秋田市教育委員会平成29年9月定例会会議録

- 1 日 時 平成29年9月28日(木)
午後3時30分～午後4時50分
- 2 場 所 5-A会議室
- 3 出席委員 教育長
教育委員
教育委員
教育委員
教育委員
- 4 出席職員 教育次長
教育次長
総務課長
学事課長
教職員室長
教育研究所長
生涯学習室長
総務課長補佐
総務課副参事
総務課副参事
学事課長補佐
学校教育課長補佐
総務課主席主査
総務課主席主査
学事課主席主査
教育研究所主席主査
総務課主査
総務課主査
総務課主査

5 議 題

【付議案件】

議案第23号 教育委員会事務の点検・評価に関する件

【教育長等の報告】

- (1) 平成30年度秋田市立秋田商業高等学校の生徒募集公告について
- (2) 小・中学校の適正配置に関する市民説明会の開催状況について
- (3) 平成29年度全国学力・学習状況調査における秋田市の調査結果について

6 議 事 午後3時30分開会

【平成29年8月定例会会議録の承認】

平成29年8月定例会会議録について、異議がないため承認された。

【会議録署名委員の指名】

教育長が今回会議録の署名委員として委員2名を指名した。

【付議案件】

議案第23号 教育委員会事務の点検・評価に関する件

教育長 事務局から説明をお願いする。

総務課長 (資料に基づき説明)

教育次長 (目標1 志を持ち「徳・知・体」の調和がとれた子どもをはぐくむ学校教育の充実の施策に関する学識経験者からの意見等について、報告書に基づき説明)

学事課長 (目標2 将来にわたり安全安心で快適な学校教育環境の整備の施策に関する学識経験者の意見等について、報告書に基づき説明)

総務課長 (目標2 将来にわたり安全安心で快適な学校教育環境の整備の施策のうち、学校施設の整備の施策に関する学識経験者の意見等について、報告書に基づき説明)

生涯学習室長 (目標3 生涯を通じて個性と能力を発揮できる社会教育の充実の施策に関する学識経験者からの意見等について、報告書に基づき説明)

総務課長 今回いただいた意見を基に施策事業の改善を図るほか、新たな取り組みが求められる事業については、当初予算に反映させていきたい。

委員 今後、学識経験者の意見がどの様に反映されているのか市民に発信できる機会があればよい。

総務課長 新しい教育ビジョンを策定し、そのビジョンの大系に沿って点検・評価報告書を作成した。これが標準的な形になると思う。毎年点検・評価を繰り返すことで前年度の意見についての結果を点検評価の作業も含めて市民に分かりやすく発信できるよう、改善しながら進めていきたい。

教育長 以前の点検・評価の様式は前年度に学識経験者からの意見があり、それについてどう取り組んだかを記載していた。今年から様式が変わったが、どういった形で記載するのかは今後の検討になるのか。

総務課長 今回、学識経験者からいただいた意見は、私たちが進めていく方向と一緒であると捉えている。意見についての結果を出すのは次回であると考えている。

※ 議案第23号については、全員賛成により議決された。

【教育長等の報告】

(1) 平成30年度秋田市立秋田商業高等学校の生徒募集公告について

教育長 事務局から説明をお願いします。

学事課長 (資料に基づき説明)

教育長 昨年度の秋田商業高等学校の倍率はどのくらいであったのか。

学事課補佐 秋田商業高等学校の前期選抜は、定員72名に対して受験者92名であり、倍率は1.28倍であった。一般選抜

は、定員168名に対して受験者224名であり、倍率は1.33倍であった。

委員 先ほどの説明で学校教育法施行規則第95条についての説明があった。中学校卒業と同等の学力について説明してほしい。

学事課長 海外で学校教育の9年過程を卒業してきた方を想定している。

委員 海外の日本人学校で中学校課程を卒業した方を想定しているのか。

教育長 日本人学校は、中学校として認められている。今の例は海外の現地学校に修学年限通っていた方である。

委員 秋田商業高等学校における秋田市内出身者と市外出身者の生徒の比率はどのくらいなのか。

学事課長補佐 全校生徒718名のうち、市内出身者が573名、市外出身者が145名であり、79.8%が市内出身者である。

委員 他の公立高等学校では定員減が続いているが、秋田商業高等学校の定員はどうなっているのか。

教育次長 秋田商業高等学校は、秋田県で唯一の商業高校であることから、定員は減っていない。

教育長 倍率も高く、スポーツ活動も盛んであり、インターハイ出場者も全県トップである。定員の削減には向かっていない。

(2) 小・中学校の適正配置に関する市民説明会の開催状況について

教育長 事務局から説明をお願いします。

学事課長 (資料に基づき説明)

委員 この資料を秋田市公式YouTubeで見ることができるのか。

学事課長 配付した資料を画像ですべて見ることが出来る。

教育長 この資料について学事課長が説明している様子を見ることができるとのことだ。

委員 秋田市の広報に適正配置についての特集が載ると聞いた。

秋田市民に適正配置について知ってもらいたい機会だ。

教育長 市民にアピールできるような紙面の工夫をお願いします。

委員 Twitterでも周知をおこなったのか。

学事課長 秋田市公式SNSであるTwitter、Facebook、YouTubeの3つを使用して周知をおこなった。来場者には若い方もいたのでTwitterを見て説明会に来てくれたのかもしれない。

委員 あらゆる方法を使って周知したということがよく分かった。

委員 説明会に参加した人から今まではなんとしても学校を守らなくてはならないと考えていたが、適正配置についての説明を聞くうちに将来の事を考えなくてはならないと感じるようになったという話を聞いた。説明会で聞いた話を自分の住んでいる地域の人に説明したいということであった。

委員 資料を見ると学校から配布した案内で説明会の開催を知った人が多いようだ。この資料と同じような内容やYouTubeでも説明会の様子を視聴することが出来ること等について、学校から配布する予定は無いのか。

学事課長 その点については、今後検討したいと思う。

(3) 平成29年度全国学力・学習状況調査における秋田市の調査結果について

教育長 事務局から説明をお願いします。

教育研究所長 (資料に基づき説明)

委員 現状の課題について、どのような形で検証を行っているのか。

教育研究所長 全国学力・学習状況調査は毎年行われているため、経年の結果も参考にしている。また、小学校2年生と5年生を対象に行う本市独自の基礎学力調査では、子どもの学力に合った問題を出題するとともに全国学力・学習状況調査の傾向を踏まえた問題も出題している。その結果を分析して、本市の子どもたちの課題が改善してきているのかを検証している。改善が進まない分野については、分析し、学校訪

問等で各校へ指導している。

委員 保護者や地域の方々にも改善点や課題について知らせているのか。

教育研究所長 今配付している資料でお知らせしている。また学校ごとに調査結果をまとめ、保護者や地域にお知らせしている。

委員 全国学力・学習状況調査の結果がよいのは喜ばしいことだが、調査は競争意識をあおるためのものではない。教育委員会がやるべきことをやった結果として受け止めればよいと思う。

委員 秋田市教育委員会が、子どもたちにどういった力を付け、環境をどう整えるか等を真摯に話し合っている結果につながっている部分もあるのではないだろうか。

学校訪問で子どもたちの家庭学習ノートを見るとみんな復習を頑張っている。先生たちも忙しい中、細やかに赤ペンで書き込みをしている。毎日内容の濃い家庭学習ノートで学校の授業の復習をすることで学んだ事をきちんと身につけることができている部分は非常に大きいと思う。

ただ、「地域の大人に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがある」という項目の肯定的な回答の割合が低いのはどういったことなのだろうか。

教育研究所長 学校と地域の関わりになると「読み聞かせ」「ふるさと先生」「職場体験」などを行っており、教育経営に関する調査でも地域との関わりが深まってきていることがわかる。一方で子どもが少なくなり、子ども会などでの地域との接点が少なくなったことが肯定的な回答の割合が低くなった原因の一つではないだろうか。

委員 学校の教育活動の中では、地域の大人とふれあう機会があるが、学校以外ではそういった機会が少ないということなのか。秋田市のスポーツ少年団の加入率は全国的に高く、学校が終わるとスポーツ少年団で活動しているため、地域

で活動していないと解釈すればよいのだろうか。

教育次長 設問の「地域の大人に」という部分が原因だと思う。地域の特定の誰かをイメージしにくいのだと思う。地域と学校、地域と子どもたちの結びつきが薄いということは決してなく、「地域の特定の大人」とはふれあっていないと子どもたちが思ってしまった結果だと思う。「地域とふれあってるか」という質問であればポイントはもっと高かっただろう。

教育長 地域行事への参加についての回答はどうだったのか。

教育研究所長 小学校は78%が肯定的な回答をしており、全国平均を上回っている。中学校は41%が肯定的な回答で全国平均とほぼ同じである。

委員 地域に商店街があれば、子どもが帰る際に声をかけてくれるのかもしれないが、秋田市では車で送り迎えする例も多い。地域の関わりが薄くなってきていると感じている。

教育長 人口が減少していく中で、町内会でも関わり合いが減り、子ども会も成り立たなくなっている。地域との関わりが少なくなったことが、子どもたちに影響を与えているかもしれない。

委員 子ども会が成り立たない所がたくさんあり、今年の春に秋田市の子ども会連合会は解散した。行事としては色々、提供しているものの、子どもたちの数がどんどん少なくなり、取り合いになっていると感じている。

【その他、今後の日程についての報告】

総務課長補佐 教育委員会定例会は原則、毎月第4木曜日としており、10月定例会は10月26日（木）午後3時30分からを予定している。

教育長 10月定例会は10月26日午後3時30分からとする。委員の皆様、日程調整をお願いする。

午後4時50分閉会

以上